



令和2年度

# 学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

令和3年1月6日  
横浜市立高田小学校

## 1月号

## 先の未来へ

校長 赤坂 桂

新しい年の始まりを迎えました。新型コロナにより、少し寂しい年末年始となりましたが、あまり出かけないことでおしる家族の温かい時間が増えたのではないのでしょうか。

さて、昨年12月に明るい話題がありました。小惑星探査機「はやぶさ2」のカプセルが無事地球に戻ってきたニュースです。小惑星「リュウグウ」からこれまでにないほどの量の砂や石を地球に持ち帰ってきたのです。「リュウグウ」は水や有機物が比較的多く含まれるとみられることから、生命誕生の謎に迫る情報が得られる可能性があるそうです。いまだ解明できていない謎に挑戦するプロジェクトにとってもわくわくします。

日本は宇宙開発において予算や規模で大国に及ばないので、どの国も考えていなかった小惑星からのサンプルリターンという新しい方法を開発したのです。その結果、日本の小惑星探査の技術は、今ではアメリカのNASAが助言を求めるほど世界をリードするようになりました。新しいプロジェクトを創り上げるのは苦労も多いのですが、様々な分野のたくさんの人々があきらめず協力し、試行錯誤することで成功への道が開かれたのだと思います。

これだけ成果を残している「はやぶさ2」ですが、ミッションはこれで終わりではなく、燃料があと半分残っていて、さらに100億キロ離れた小惑星「1998KY26」を目指しているそうです。到着は2031年予定。今の1年生が高校3年生になる年です。その頃はどんな世の中になっているのでしょうかね。

学校を振り返ってみると、今行われている教育活動も成果が目に見えるのは、もしかしたらずっと先のこともかもしれません。「あの時の授業がきっかけで興味もったんだよね。」とか「小学校の時の先生がいつも教えてくれていたな。」など思い出すことがあったらうれしいです。わくわくするような面白い分野、広い世界に子供たちをいざなうことが教科学習の目的です。日々の授業を通して、新しいことを知る喜びや学ぶ楽しさを感じられる学校となるよう本年も取り組んでまいります。よろしくをお願いします。